

Noto PLUS

3



広報のと
第85号

平成24年3月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1997番地1

☎0768-6211000(他)
能登町URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

ぶらり里山
ゆらり里海

第3回 『里山里海の地元学』



『生存風景』という美観

村

の人たちは決して美しい村をつくって
きたわけではなくて、ここに生きるた
め、ここで生きるために、田を下に配
置し、家と畑を山側においた。そのことが水による
一定の秩序を村の風景に持たせたのである。あえて
言えば生存風景である。それが結果として美しいの
である」(地元学の吉本拓郎氏)

里山里海は人と自然が折り合った生産風景です。
まるで湖が出現したかのような鏡の水田。湧き上が
るカエルの合唱にホタルが飛び交い、やがて虫の音
に変わるころ、黄金色に染まった大地が風でうねり
ます。身近な森から職人が作り出した道具は、古く
なるチカラを授かって使い込むほどにその真価を発
揮し、背後の山から三世代かけて作られた家が
家族を見守り、やがて朽ちて土に還ります。

里山里海は食卓にのぼる料理の素材がそのまんま
風景となった春夏秋冬の恵みの姿です。稲穂と畦の
大豆の風景はご飯と味噌汁の朝ごはん。旬の野菜・
山菜・キノコ・ゆらめく海藻と夕涼みがてらに釣つ
た魚が今晚のおかずです。食後の柿やアケビ、おや
つの栗や胡桃、米の酒にはムカゴや干物がつまみで
す。蔵の中では発酵食が熟成して冬を迎えます。

里山里海は同じように見えて全部違う固有の存在
で組み上がったモザイクです。私のお気に入り、そ
の人しか知らないあたりか、在所が共有する知恵。ひ
とつひとつの微妙な違いを大切にすれば、「当たり前」
と想っていたものが「地域の宝」になります。

里山里海には先人から子孫へのメッセージが込め
られています。柿の太木にしがみついた子供がよだ
れを垂らして見上げる時、きつとあの世で誰かが
にっこり笑っているでしょう。

写真・文 山崎昭宏

【PROFILE】 Yamazaki Akihiro

昭和42年埼玉県生まれ。平成21年能登町笹川に移住。平成4年に
初めて富来を訪れる。彼女(妻)の実家でいきなり大家族的な親戚
づきあいの洗礼を受け、たちまち能登に魅了された。"帰省"の度に
能登を巡り、富来の親戚よりも能登に詳しいと評された。
ブログ: ゆらりぶらり <http://blog.livedoor.jp/yurairurari/>



人も犬も
大切な命を事故から守る――。
能登町は「反射材着用の町」。



【写真】能登警察署の反射タスキ着用モデル犬ウエンディ(7歳・メス)と飼い主の大柳公男さん(宇出津)。
交通事故に遭わないよう、散歩に出かける時は必ず反射タスキを着用しています。

